

■ 研究課題名

11 ゲノム情報に基づいた細菌感染症の分子疫学解析

■ 研究の概要

感染症法に指定される侵襲性疾患の原因菌であるインフルエンザ菌、肺炎球菌、髄膜炎菌は、血液や髄液に侵入した場合は重篤な症状を引き起こす一方、鼻腔や咽頭といった上気道炎にも存在し、中耳炎や副鼻腔炎など軽微な疾患の原因菌ともなる。侵襲性、非侵襲性の株をそれぞれ次世代シーケンサーの分析に供し、全ゲノム比較を行い、原因となりうる遺伝領域を見出す。

■ 研究期間

平成 30 年度から令和 2 年度まで

■ 研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター 所長 大井 洋

■ 研究責任者の氏名

微生物部病原細菌研究科

久保田 寛顕

■ オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。